NICHIBAN

第110期　第2四半期報告書

2013年4月1日▶2013年9月30日

ニチバン Life

Contents

株主の皆様へ 1
セグメント情報 3
CSR活動 5
連結財務ハイライト 6

[証券コード：4218]

代表取締役社長

堀田直人

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成25年4月1日から平成25年9月30日にいたる第110期（平成26年3月期）第２四半期報告書（ニチバンLife）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

「企業ブランド向上」とともに「成長戦略」を確実に実行

第110期第２四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策等により円安と株高基調で推移し、一部企業の業績に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復の期待感が広がりました。しかしながら、新興国経済の減速や一部原材料価格高騰の影響を受け、企業を取巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなか、当社グループでは中長期経営計画【NB100】の中盤となる3ヵ年計画「Stage2」をこの4月よりスタートしました。「Stage2」では、収益性基盤を確かなものにする取組みとともに、開発・生産・営業の各機能と運営管理の強化を進めております。それとともに将来に向けた新たな「成長戦略」である“大型開発品の創出”、“大型設備投資の着手”、“海外新規市場の開拓”を進めております。その結果、全体の売上高は194億1千8百万円（前年同期比3.0％増）でしたが、利益面においては販売費

の増加と円安による為替の影響により、経常利益は6億3千2百万円（前年同期比11.9％減）、四半期純利益は3億6千5百万円（前年同期比10.7％減）となりました。

メディカル事業分野におきましては、救急絆創膏「ケアリーヴ®」シリーズがテレビCMでの大型販促の影響もあり好調に推移し、ヘルスケアフィールドの売上は順調に拡大いたしました。医療材フィールドでは、医療機関での感染予防や安全性への意識の高まりを受けて、止血製品「インジェクションパッドマイルド」が引き続き好調に推移し、新製品「スキナゲート®スパット」の採用も広がり、売上は順調に推移いたしました。

テープ事業分野におきましては、新製品テープのり「tenori®はんこのり®」が多くのメディアに取り上げられ話題となるなど、オフィスホームフィールドの売上は順調に推移いたしました。工業品フィールドでは、包装用テープは堅調に推移いたしましたが、国内産業の動きは徐々に持ち直しているものの特殊材料分野の市場が振るわず、売上は伸び悩みました。

海外事業分野におきましては、ターゲットとするアジア各国へのメディカル製品展開の準備も順調に進み、徐々にではありますが新規市場での実績も上がってきております。テープ製品におきましては、円安の後押しとともにアジア・欧州を中心とする需要が復調してきたこともあり、売上は好調に推移いたしました。

第110期下半期の取組みについて

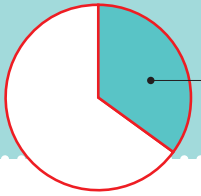
平成25年10月からの下半期につきましては、景気回復とともに国内経済の持ち直しが期待されるところですが、石油製品を中心とする原材料価格や燃料費の高騰、さらには来年4月の消費税率アップへの対応など、当社を取巻く環境は依然として予断を許さない状況が予想されます。

このような経営環境のなか、当社グループは中長期経営計画【NB100】「Stage2」の初年度として、「基盤となる事業の効率化・安定化」による売上拡大と、経営環境に左右されない収益構造の強化による利益確保を推進してまいります。また、『信頼され期待される企業』を目指し、「企業ブランドの向上」に取組むとともに、将来に向けた「成長戦略」を確実に実行してまいります。

また、環境への貢献活動、および社会とのコミュニケーションをより深めていく活動として、今年も【ニチバン巻心ECOプロジェクト】を11月より実施いたしております。使い終わった粘着テープの巻心を回収し、段ボールへのリサイクルを行い、その回収資源利益をマングローブ植樹に活用するというプロジェクトです。このプロジェクトも今回で4回目となりますが、一般消費者の皆様、全国の小学校、官公庁などの団体様、大手ユーザー様まで前回以上に幅広く多くの参加をいただけるよう全社を挙げて展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MEDICAL
メディカル事業本部



売上高比率
35.1%

営業概況

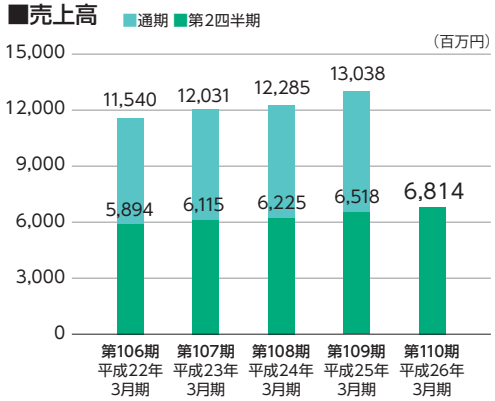
ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場を対象とするヘルスケアフィールドにおきましては、個人消費の回復は十分実感することができず、さらにドラッグストアを中心とする販売店の競争に加え、一般用医薬品のインターネット販売が解禁となり、さまざまなチャネルで激しく競い合う厳しい状況が続いております。そのなかで、テレビCMをはじめとした消費者への告知を積極的に行った救急絆創膏「ケアリーヴ®」シリーズと、販売店店頭での販売促進活動を展開した「ロイヒ®」シリーズが好調に推移いたしました。

医療材フィールド

医療機関向け医療材料市場を対象とする医療材フィールドにおきましては、感染管理・安全な医療に貢献する「高透湿」「高固定」「低刺激」の3つの思いやりをプラスした「カテリープラス®」が好調に推移するとともに、看護師の方々がグローブを外すことなく軽い力でまっすぐ切れる極低刺激性サージカルテープ「スキナゲート®スパット」を全国発売し、好評をいただいております。

■売上高



TOPICS

医療現場へ“使いやすさ”を追求した製品を提供

当社は1918(大正7)年に試作を始めたゴム絆創膏を原点として、さまざまな粘着テープの研究開発をすすめてきました。病院などの医療機関向けのサージカルテープ(医療補助用粘着テープ)は、長年培った粘着技術を活かして“肌へのやさしさ”と“はがれにくさ”を両立させ、医療従事者の方々にとっての“使いやすさ”を追求した製品を取り揃えています。これからも医療現場のニーズに応えた製品を提供してまいります。

●医療用粘着テープの歩み

1918(大正7)年
ゴム絆創膏(下)発売

1948(昭和23)年
ニチバン紙テープ(紙絆創膏)発売

1971(昭和46)年
ニチバンサージカルテープ発売

2000(平成12)年
スキナゲート®発売

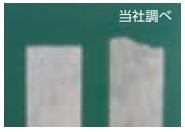
新製品情報

手でスパット切れてハサミいらず!

極低刺激性サージカルテープ「スキナゲート®スパット」

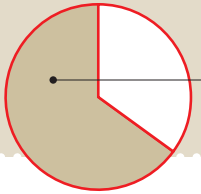
むれにくさ、かぶれにくさを追求した「スキナゲート®」シリーズから、ハサミがなくても手でまっすぐ切れる手切れ性に優れた新製品が登場しました。グローブ着用のまま作業できるので、ケア時間の短縮や感染リスクの軽減が期待されます。

手で切ったときの切断面



スキナゲート® スパット　当社従来品

TAPE
テープ事業本部



売上高比率
64.9%

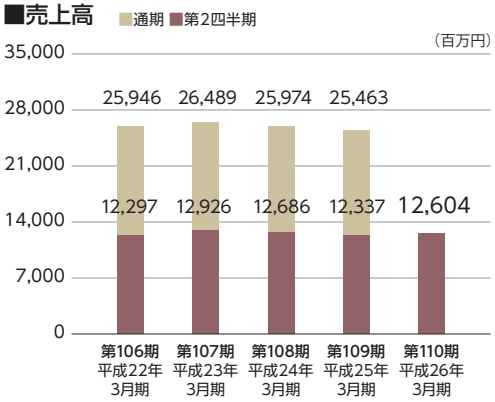
営業概況

オフィスホームフィールド

文具事務用品業界を対象とするオフィスホームフィールドにおきましては、マスコミが継続して機能性・話題性の高い文房具を特集していることで、一部の付加価値商品に需要が集まりましたが、全般的には主力ユーザーである官公庁・事業所の需要が減少し、低価格商品へシフトする非常に厳しい状況が続いております。このような状況のなか、販売店店頭での販売促進活動を積極的に行ったテープのり「tenori®はんこのり®」が好調に売上を伸ばし、34年ぶりのデザイン変更が話題となっている「セロテープ®小巻カッター付」を含め、「セロテープ®」が順調に推移いたしました。

工業品フィールド

産業用テープ業界を対象とする工業品フィールドにおきましては、円安により輸出が中心となる一部の業界で回復が見られるものの、業界全体としては非常に厳しい状況が続いております。このような状況のなか、クラフトテープと布テープを中心とした主力の包装用テープは堅調に推移いたしました。また取組み課題としている食品関連は、市況の厳しいなか前年同期の売上を確保し、マスキング分野は、市場のシュリンクと新車生産量の減少により、非常に厳しい状況で推移いたしました。



TOPICS

セロテープ®とともに進化を続ける「テープカッター」

1948(昭和23)年、当社が国内で初めて発売したセロハン粘着テープ「セロテープ®」の需要拡大とともに、テープを切断する「テープカッター」も進化を遂げてきました。
1952(昭和26)年に卓上タイプの発売とあわせて、ブリキやプラスチック製のハンドカッターが考案され、あらかじめテープをセットしたものが登場。今ではセロテープ®をはじめ、各種粘着テープの使用時に無くてはならない製品となりました。
当社は粘着テープのパイオニアとして、これからもテープを使うさまざまなシーンにおいて、便利で快適に使えるテープカッターを提供してまいります。

●テープカッターの歩み

1952(昭和26)年 卓上タイプ

発売当初のテープカッター 小巻タイプ

1979(昭和54)年 セロテープ®小巻カッター付発売

2010(平成22)年 テープカッター直線美®発売

新製品情報

7色のビビットカラーをラインアップ！

安全性、機能性が向上した「セロテープ®小巻カッター付」

「セロテープ®小巻カッター付」が34年ぶりに生まれ変わりました。カッター刃先の両端にガードを付けたことで安全性が向上し、はめ込み部分の改良でより使いやすくなりました。付属するセロテープ®の長さも1m増量しています。

子どもたちにスポーツの楽しさを伝える「NICHIBAN presents JBAバスケキッズフェスティバル」

当社は2012年11月より、小学生高学年を対象にしたバスケットボール教室「NICHIBAN presents JBAバスケキッズフェスティバル」（主催：公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）、ゼビオグループ）のオフィシャルメインパートナーとして、全国で展開する本活動をサポートしています。

会場内のニチバンブースでは、子ども向けに応急処置や怪我の予防についての啓蒙活動を実施しています。クイズ形式で楽しみながら学べるようになっているため、毎回子ども達が行列を作るほどの大人気となっています。

また、保護者・指導者向けのテーピング講習会も同時に実施しています。基礎知識の講義だけでなく、実際にテーピングテープを使った実技など実践で役に立つ講習会になっており、講習会後に実施したアンケートでは満足度が90パーセント以上と、高い評価をいただいています。

怪我の予防に関するクイズ

テーピング講習会

当社は、今後も当活動を通じて、応急処置やテーピングの啓蒙をするとともに、スポーツ支援をしてまいります。

第4回 ニチバン巻心ECOプロジェクト

巻心受付期間
2013年11月1日（金）～2014年1月31日（金）

テープの巻心（まきしん）を集めて緑の地球を守ろう！

各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する「ニチバン巻心ECOプロジェクト」を来年1月まで実施しています。本プロジェクトは、メーカーを問わず回収した巻心をダンボールへリサイクルし、その際に生じる回収資源利益金と当社からの支援金を、マングローブ植樹事業を行う環境NGOに寄付しているものです。2010年から毎年実施し、これまでに52,046本のマングローブを植樹しています。

応募等の詳細は、特設WEBサイトをご覧ください。
http://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成25年9月30日現在	前期 平成25年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	**28,475**	**28,727**
現金及び預金	9,633	9,653
受取手形及び売掛金	11,790	12,481
たな卸資産	5,730	5,270
その他	1,321	1,323
固定資産	**17,347**	**17,073**
有形固定資産	12,616	12,395
無形固定資産	214	232
投資その他の資産	4,516	4,445
資産合計	**45,823**	**45,801**
[負債の部]		
流動負債	**12,179**	**12,119**
支払手形及び買掛金	7,371	7,481
その他	4,808	4,637
固定負債	**8,651**	**8,889**
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	3,013	3,199
その他	3,637	3,690
[純資産の部]		
純資産	**24,992**	**24,792**
株主資本	24,950	24,834
その他の包括利益累計額	41	△42
負債純資産合計	**45,823**	**45,801**

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	前第2四半期 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044	1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△701	△1,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363	△342
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の期首残高	9,879	10,245
②現金及び現金同等物の四半期末残高	9,860	10,026

連結損益計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	前第2四半期 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
売上高	**19,418**	**18,855**
売上原価	13,997	13,553
①売上総利益	5,420	5,302
販売費及び一般管理費	4,800	4,551
営業利益	**620**	**751**
営業外収益	80	44
営業外費用	67	78
経常利益	**632**	**718**
特別利益	0	0
特別損失	45	42
税金等調整前四半期純利益	**587**	**675**
法人税等	**222**	**266**
少数株主損益調整前四半期純利益	**365**	**408**
四半期純利益	**365**	**408**

POINT①　連結損益計算書

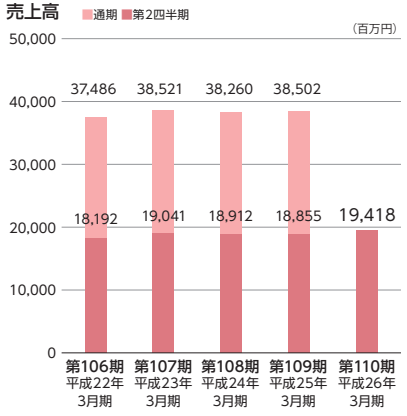
売上高は前年同期比3.0%の増収となりましたが、営業利益については円安による輸入商品・原材料価格の上昇が売上原価に影響したことや、販売費が増加したことにより、前年同期比17.4%の減益となりました。

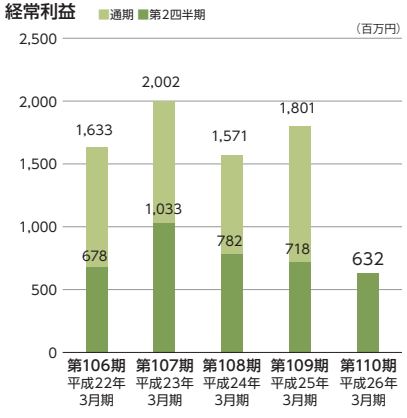
POINT②　連結キャッシュ・フロー計算書

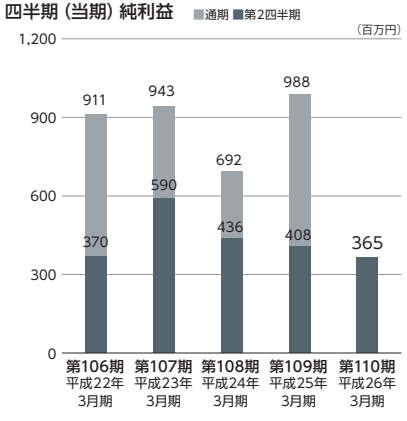
前年同期に比べ営業活動によるキャッシュ・フローが減少した結果、現金及び現金同等物の期末残高は減少しましたが、当四半期末においても十分な手元資金を確保しております。

財務に関する詳しい情報は、当社ホームページ **http://www.nichiban.co.jp/ir/** をご覧ください。

売上高／経常利益／四半期（当期）純利益







（平成25年9月30日現在）

会社概要

創業	1918（大正7）年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	740名

役員

代表取締役社長	堀田直人	常勤監査役	歌橋正明
代表取締役専務取締役	須藤孝志	常勤監査役	芹澤和弘
常務取締役	関谷信行	監査役	佐野正人
取締役執行役員	鈴木達也	監査役	清水俊行
取締役執行役員	酒井寛規		
取締役執行役員	山田隆文		
取締役執行役員	小久保武政		
取締役執行役員	伊藤暁		
取締役執行役員	原秀昭		

（注）監査役のうち佐野正人、清水俊行の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	41,476,012株
株主数	5,108名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	13,516千株	32.61%
ニチバン取引先持株会	2,530	6.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,069	4.99
株式会社みずほ銀行	2,069	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,981	4.78
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,080	2.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,062	2.56
株式会社りそな銀行	577	1.39
第一生命保険株式会社	555	1.34
クレディ・スイス・セキュリティーズ（ヨーロッパ）リミテッド ピービー オムニバス クライアント アカウント	496	1.20

（注）持株比率は自己株式（25,277株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 （中間配当を行う場合は9月30日） なお、今回の中間配当につきましては、当期の結果を踏まえ見送ることといたしました。
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 （http://www.nichiban.co.jp） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度について

［目的］

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

［内容］

①**対象となる株主様**／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元（1,000株）以上を保有する株主様を対象といたします。

②**贈呈内容**／年1回、対象株主様お1人につき3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。

③**贈呈時期**／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例

ニチバン株式会社

〒112-8663
東京都文京区関口二丁目3番3号
電話：（03）5978-5601
FAX：（03）5978-5620

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから――ニチバン

ニチバンに関する情報は
ホームページで
ご覧いただけます。
http://www.nichiban.co.jp/

®は登録商標です。

ISO 9001 JSAQ 117　ISO 14001 JSAE 210
当社は、ISO9001　ISO14001の登録をしています

当社は、環境配慮製品の研究開発、周辺地域への環境保全、省エネ・省資源、廃棄物の適正処理、グリーン購入の推進に取組んでいます

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK